

(様式2)新規評価シート (記載例)

建設部 道路建設課

事業名		道路改築事業		路河川名等	(国)151号				
事業毎の通番		2	市町村名	阿南町	箇所名(ふりがな)	新野拡幅(にいのかくふく)			
事業概要	事業目的	(国)151号は飯田市を起点として愛知県豊橋市に至る広域的幹線道路である。このうち、阿南町新野地区から新野峠(県境)に続く区間では、幅員狭小、線形不良ですれ違い困難な箇所や、落石等の危険箇所が点在し、安全で円滑な交通の確保が課題となっている。このため、当該箇所の整備により、安全で円滑な交通の確保を図るため、早期に整備する必要がある。							
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法				
	関連する事業、計画等	しあわせ信州創造プラン							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量:1,087台/日							
	着手年度	平成28年度	事業期間	9年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完成年度(見込み)	平成36年度	費用対効果	1.1	国庫	その他	県債	一般財源	
	全体事業内容(主な工種)	道路築造工 L=2,190m、W=6.0(8.0~12.0)m			1,000,000	550,000	405,000	45,000	
	年度事業内容(主な工種)	用地測量 一式、物件調査 一式、用地補償 一式			40,000	22,000	16,200	1,800	
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間・経費等の減少 9億円 三遠南信自動車道 天竜峡IC、東栄IC(愛知県)へのアクセス道路、緊急輸送路(2次)の整備						
		間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進、観光振興						
評価の視点	必要性	○代替道路の有無：代替道路がない ○交通結節点アクセス：三遠南信自動車道 天竜峡IC、東栄IC(愛知県)へのアクセス道路 ○生活支援・観光振興：観光地に通じる道路(新野高原、うるぎ自然休暇村) ○地域の活性化：三河地域と南信州地域を結ぶ幹線道路						評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合：しあわせ信州創造プラン 事業着手 ○緊急輸送路の路線指定：第2次緊急輸送路 ○地域指定：地震防災対策強化地域						評価	A
	効率性	○費用対効果(B/C)：1.1 ○事業期間：9年間 ○工法等の比較検討：ルート比較による検討を実施 ○他事業との連携：なし						評価	B
	緊急性	○近年の交通事故件数：H25:9件、H26:6件、H27:3件 ○道路環境改善：落石危険箇所(10箇所) ○歩道整備：歩道未整備区間に歩道を整備 ○道路の幅員、半径、勾配：現況幅員 W=3.0(4.0)m						評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有：関係者を中心に周知(計画説明会 H22.2.1、H26.9.17、H27.7.31) ○地域の取り組み：積極的な取組がある(国道151号(飯田~豊橋)改良促進期成同盟会、愛知、長野県境域開発協議会、下伊那土木振興会) ○地域の合意形成：合意形成が図られている ○住民との協働：道路アダプト締結による住民の取組あり(柘洞区すみれ会による草刈り等)						評価	A
	部意見	事業の必要性、重要性及び緊急性が高いため、平成28年度から新規事業化した。		行政改革課意見		評価結果	総合評価		
					○	A			

【位置図、平面図、構造図等】		
事業概要説明図表	<p>① 事故発生状況</p> <p>② 落石状況</p> <p>③ 積雪時の状況</p>	
事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(国)151号は飯田市を起点として愛知県豊橋市に至る広域的幹線道路である。このうち、阿南町新野地区から新野峠(県境)に続く区間では、幅員狭小、線形不良ですれ違い困難な箇所や、落石等の危険箇所が点在し、安全で円滑な交通の確保が課題となっている。当該区間は、飯田市から県境までの約4.7km間のうち、唯一の未改良区間となっている。
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	下伊那南部地区議員会、愛知・長野県境域開発協議会、下伊那土木振興会から、毎年改良要望が出されている。
	③事業説明等の経緯	計画説明会の開催(H22.2.1、H26.9.17、H27.7.31の3回)及び個別説明(H22:3回、H23:1回、H26:1回、H27:3回)により、地域の合意形成が図られている。
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	しあわせ信州創造プラン「事業着手」
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	ルートの検討段階において、地形の変更を極力少なくなるよう検討を行っている。また、地元区のアダプト活動(柘洞区すみれ会)による沿線への花卉の植栽などが予定されている。
	⑥地域活性化への影響と配慮	三河・遠州地域との県境を越えた広域的な交流促進や、道の駅「信州千石平」をはじめとする南信州地域の観光施設の活性化に寄与するものと期待される。
	⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 137° 44' 25" 88 東経:E 35° 15' 08" 50